

# 教育関係者に対するアンケートについて

平成26年8月5日

保健福祉局食品安全推進課

## 1 目的

「食」に関する授業を担当する教育関係者の「食の安全・安心」に関する意識を把握して、市民の「食」に対する不安を軽減し、安心を高めるための施策を検討するもの。

## 2 対象者及び実施日

(1) 栄養教諭及び学校栄養職員

- ① 人数：72名
- ② 実施日：7月22日（火）

(2) 小学校，中学校等で家庭科を担当する教諭等

- ① 人数：205名
- ② 実施日：7月24日（木）及び7月29日（火）

## 3 内容

別添アンケートのとおり

# 《食の安全・安心に関するアンケート》

保健福祉局食品安全推進課では、①食品の安全性の確保、②消費者が食品の安全性に関する知識と理解を深め、食品を取り巻く雑多な情報を読み解き、目的に応じた食品を取捨選択する能力を高めることの支援、等についての企画を立案しています。

特に、消費者が「食の安心」を得ることができる都市を実現するためには上記②が重要と考え、様々な施策を検討・実施しているところですが、児童・生徒に対する取り組みは充分とは言えません。学齢期から適切な支援を行うことの必要性は認識していますが、食育や家庭科の授業を担当されている先生方に頼っているのが現状です。

そこで、これらの授業を担当されている先生方を対象とした「食の安全・安心」に関するアンケートを実施して、児童・生徒に対する取り組みにつなげていきたいと考えています。

つきましては、趣旨をご理解いただき、以下のアンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

保健福祉局生活衛生部食品安全推進課長

問1 全員にお尋ねします。

日ごろ、「食」に対してどのように感じていますか。

あてはまるもの1つ選び、番号に○をつけてください。

1	安心
2	どちらかといえば安心
3	どちらかといえば不安
4	不安
5	どちらともいえない

→ 問4にお進みください。

問2にお進みください。

問2 問1で2～5を選んだ方にお尋ねします。

「食」に対して不安を感じると言われる主な項目を例示しました。

各項目についてあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

		不安	どちらかといえば不安	あまり不安ではない	不安ではない	どちらともいえない
ア	不衛生な飲食店・販売店	1	2	3	4	5
イ	BSE（牛海綿状脳症）	1	2	3	4	5
ウ	表示の偽装	1	2	3	4	5
エ	輸入食品	1	2	3	4	5
オ	食品添加物	1	2	3	4	5
カ	遺伝子組み換え食品	1	2	3	4	5
キ	アレルギー物質	1	2	3	4	5
ク	食中毒（0-157, 0-111等）	1	2	3	4	5
ケ	農薬や動物用医薬品などの食品への残留	1	2	3	4	5
コ	食品中の放射性物質	1	2	3	4	5
サ	食肉の生食	1	2	3	4	5

問3 問1で2～5を選んだ方にお尋ねします。

問2に例示した項目以外で、「食」に対して不安を感じるものがあれば、ご自由にお書きください。

問4 全員にお尋ねします。

日常の生活の中で「食」の安全・安心に関する情報は主にどこから得ていますか。  
あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1	新聞・雑誌・本
2	テレビ・ラジオ
3	食品を購入した店舗
4	製造者や販売者のお客様相談室・広報室等
5	インターネット (SNS (*1) ・Twitter(ツイッター) ・福岡市のホームページは除く)
6	SNS ・Twitter(ツイッター)
7	福岡市ホームページ
8	消費生活センター
9	保健所
10	市政だより，福岡市の広報チラシやパンフレット等
11	人づて (友人，近隣住人など)
12	その他 (具体的に： )

\*1 SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) とは，参加者が互いに友人を紹介しあつて，新たな友人関係を広げることを目的に開設されたコミュニティ型サイトのことです。サービスに入る際に会員からの紹介が必要な場合もあります。mixi (ミクシィ)，Facebook (フェイスブック) などが該当します。

問5 全員にお尋ねします。

「食の安全・安心」を確保するための行政の主な取組みを例示しました。

各項目についてあてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

		必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば不要	不要	どちらともいえない
ア	わかりやすく適切な表示の指導	1	2	3	4	5
イ	輸入食品の監視	1	2	3	4	5
ウ	消費者に対する情報の提供	1	2	3	4	5
エ	食品製造業者，飲食店への監視・指導	1	2	3	4	5
オ	食品の流通業者や販売店への監視・指導	1	2	3	4	5
カ	生産者に対する農薬等の使用方法についての指導	1	2	3	4	5
キ	食品関係業者が行う自主管理へのアドバイス	1	2	3	4	5
ク	リスクコミュニケーション (*2)	1	2	3	4	5
ケ	食品の安全性に関する調査研究	1	2	3	4	5
コ	食中毒や苦情相談への適切な対応	1	2	3	4	5

\*2 健康に悪影響を及ぼす食品の「リスク」について消費者，食品関係事業者，行政間で双方向の情報の提供や意見交換を行い，食品の安全確保に生かすこと。

問6 全員にお尋ねします。

問5に例示した項目以外で，「食の安全・安心」を確保するために必要と思われるものがあればお書きください。

問7 全員にお尋ねします。

児童・生徒が「食品の安全性」に関する知識と理解を深め、食品を取り巻く多種多様な情報を読み解き、目的に応じた食品を取捨選択する能力を高めることを支援するためには、どのような取り組みが必要だと考えますか。ご自由にお書きください。

--

問8 全員にお尋ねします。

あてはまるものを1つ選び、番号に○をつけてください。

	年齢
1	20 歳代
2	30 歳代
3	40 歳代
4	50 歳代
5	その他

	性別
1	女性
2	男性

所属する学校の列の該当欄に○をつけてください。

所属	担任, 専科等			
	小学校	担任 ( )年	家庭科専科	栄養教諭
中学校		家庭科教諭	栄養教諭	学校栄養職員
特別支援学校			栄養教諭	学校栄養職員
その他			栄養教諭	学校栄養職員